

Jr.TEAM 選手育成コース【勉強会の主旨】

平成 25 年 5 月 30 日(木) 後藤

・世界的な視点を持ってほしい

テニスのみならず、世界におけるジュニアスポーツ事情は各国様々です。今回のセルビアのケースは戦争でした。また貧困の問題を抱えている国もあります。逆に、スポーツを通じて子供を育てるシステムが日本よりも整っている国もあります。世界のジュニアスポーツ界の現状を知ること、狭い視点にとらわれない感性を持つことができると思います。

・幸せな環境に対する「感謝の気持ち」を持ってほしい

日本の子供たちが今、いかに恵まれた環境にいるかを知って欲しいと思います。そしてテニスに集中できることは世界規模で見たときには、とても特別な環境であることを知ってほしいと思います。さらに、この環境、サポートしてくれる親、自分の周りの仲間たちに対する感謝の気持ちをより強く持って欲しいと思いました。

・高い意識とは「大好き！」から始まるということを知ってほしい

とてもテニスに集中できる環境とは言えない中でも、高い意識レベルでテニスに打ち込んでいる子供たちがいます。その子供たちの意識の根底に存在しているのが「テニスが大好き！」という気持ちです。大人に怒られて行動しているのではありません。大人に褒められるために行動しているのでもありません。自らが「やりたい！上手になりたい！」という強い意志を持ち自発的に行動しているのです。ですから、そこには自然に高い意識が生まれま

・「私たちにもそれができる」ということを知ってほしい

おいしいご飯が食べれて、ゆっくり眠れて、ステキなウェアやシューズを身に付けていて、練習しやすいコートとたくさんのボール、たくさんの練習時間、たくさんの仲間たちがいます。そして、周りの大人が子供たちを温かく見守っています。子供たちにこの事実を知ってもらいたいと思いました。こんなに幸せな環境の中で、あと必要なことは本人の「やる！」という強い意志です。本気でやり抜く決断さえすれば、夢が叶う環境にいることを知ってほしいと思います。

・最も大切なのは“心”ということを知ってほしい

ボシココーチの体験から、高い意識とは何かが子供たちにも理解できたと思います。そして、彼も言っていますが、行動を起こす前に「心を充実させること」が大切です。このことは、技術・体力・戦術を向上させる上でとても重要なことです。逆に言えば心が充実していないうちに練習しても、思うような成果は上がりません。テニス大好きな気持ち、やり抜く強い意志、そこから来る高い意識が重なり合って、素晴らしい取り組みになります。

セルビア人コーチ
ボシコ・テシッチが日本のジュニアに伝えたいこと
Jr.TEAM 勉強会の報告(H25.5.26) 対象:中高生クラス

感想を記入して下さい。

中3男子

自分とは本気さが違うと思った。どんな困難な状況であってもテニスの実力を向上させた
くて自主的にやっているのがすごいと思った。もし、自分がこのような状況になったら、こ
んなに本気になれるのだろうかと思った。今ですらできていないのに、こんな状況に立たさ
れたら多分できないと思う。

しかし、今、自分はとてもいい環境にいます。だから、もっと強くなって勝ちたいと本気
で思って練習できるのなら、もっとやれると思う。

なかなか結果が出ずメンタルがくずれるのは、まだまだ強い意志が足りないからだと思う。
どれだけいい環境にいても、自分の本気さがなければ強くはなれない。

自分の強い意志が最重要。

中3男子

電気が1日2～3時間しか使えなかったりする厳しい環境の中で、チャンスがあるときに
集中してテニスに取り組んでいたから、ボシココーチは世界的なコーチになれたのだと思う。

また、爆撃が終わった一瞬の時間にすぐに切り替えてテニスに集中できるのは、それだけ
「テニスが好き！」で「強くなりたい！」という気持ちがあるからだと思った。

最も重要なのは、心だと思った。

中2男子

ボシココーチみたいに「テニスが好き！」という気持ちがあれば、戦争が起きていてもテ
ニスをすることができる。それに、気持ちが大切なんだと思いました。

なぜ、日本は良い環境なのに世界レベルで結果が出ないかということ、豊かすぎるからだ
と思います。豊かすぎて内発的モチベーションになれる人が少ないからです。でも、逆に言え
ば、コーチたちに言われなくても自分からなんでもするようになれば、うまくいくと思
います。

中2男子

こんな環境の中でも世界のトップになれるのなら、いろいろな物や集中できる環境が備わ
っている僕たちなら、何人も世界の1、2を争う人がたくさん出てきても不思議ではないと
思う。日本という平和な国に生まれてきて良かったと思った。

中1男子

こんなすごい人生を送って、すごい！

死ぬかもしれないのに「テニス大好き！」な気持ちがすごい！

テニスだけでここまでする、こういう人こそトップへいけるんだなと思いました。

テニスを愛せて、本当に素敵だなと思いました。

高1女子

世界で戦う人々は日本などとは違い、テニス・勉強に対してすごくいい環境とは言えない。しかし、私たちよりも限られた練習の中で、私たちよりすごく「質の高い練習」をしているのだなと思いました。

なら、私たちはその人たちよりももっと時間や食事などがとれているので、その人たちと同じような気持ちになってやれば、もっと強くなれると思った。

あなたがテニスに集中することができるこの環境は、当たり前ですか？特別ですか？

中3男子

特別。日本とセルビアとでは明らかに環境が違うから。素晴らしい環境で、素晴らしいコート、新品のラケット、たくさんのボール等々、そして親やコーチなど支えてくれる人もいるから。それに何より争いごとがなく平和だから。テニスだけに集中することができるから。

中3男子

特別だと思う。ユーゴスラビアみたいに当たり前の生活ができずに、テニスを集中してできない環境にいる人もいるから。

中2男子

当たり前ではないと思う。時間がたっぷりあって、ウェアもシューズもラケットもあるから。

中2男子

特別だと思う。セルビアのように内紛や治安が悪いところでは安眠すらできないのに、日本はしっかり眠れて普通の日々が送れるし、コートもしっかりあり、ラケットも3～4本も持っているし、環境も整っているから。

中1男子

特別です。理由は、セルビアでは戦争などをしてもテニスを100%の気持ちで続けようとしている。しかし、日本はとても幸せなところで、戦争のない平和なところで、テニスに行けるのが普通なので、テニスを100%の気持ちでできない人が多い。

高1 女子

特別です。世界には、すごく困難な状況でテニスをやっている人がいるが、私たちはお金を出してもらいテニスをしっかりやらせてもらっているから。

テニスができることへの感謝の気持ちを言葉にしましょう。

中3 男子

テニスをして様々なことを学んだ。そして、よい友達とも巡り会えた。

テニスはシンプルなようでとても複雑で難しいことだけど、それを少し乗り越えた時の嬉しさは最高。その喜びを学び、普段でももう少し頑張ってみようと思えた。

テニスは基本一人であり、自分が今まで体験したことのないような緊張感を学んだ。チームスポーツとは明らかに違う。

人生は簡単なことばかりではないと、テニスから学べた。

中3 男子

日本に住んでいて当たり前前に生活ができ、毎日テニスに集中できる環境や、サポートしてくれるコーチ、金銭面で援助してくれる親などに感謝したいです。

中2 男子

ありがとう。

中2 男子

テニスをしていたからこそ、自分を鍛えられたし、大切な仲間にも出会えた。

テニスのおかげで、普通ならくじけてしまうような逆境の中でも耐え抜くことができた。

中1 男子

一緒に練習してくれる仲間、一緒に強くなれる仲間と出会えた。

高1 女子

コーチや仲間などいろいろな人が自分を高めてくれているので、その人たちが自分に捧げてくれているものをコートの上でしっかりと感謝などの思いを込めて表現していきたいと思いました。

最後に、とてもステキなコメントをご紹介します。

もしかしたら、これこそが、スポーツを行う原点であり、追求すべき感性なのかもしれません！

フロントアルバイト(日曜日:朝) テニス未経験

私が精一杯打ったボールを、一生懸命に打ち返してくれた相手にありがとう。